

教第26号議案

平成30年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程道徳科教科書の採択の件  
神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程における平成30年度使用道徳科教科書を  
採択する。

平成29年7月24日提出

神戸市教育委員会

教育長 雪村 新之助

平成 30 年度使用  
神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程  
道徳科教科書

# 調査研究報告書

教育委員会事務局学校教育部

平成 29 年 7 月 7 日

神戸市教育委員会 様

神戸市教育委員会事務局学校教育部

部長 大谷 真一

平成 30 年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程道徳科教科書について、  
別添のとおり調査研究内容を報告します。

種 目	番 号
道 徳	<b>【A】・【B】・【C】・【D】</b> <b>【E】・【F】・【G】・【H】</b>

平成 30 年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程  
道徳科教科書に関する報告書

標記のことについて、慎重に調査・研究・協議した結果、下記のとおり報告します。  
なお、発行者については別表の通りとします。

記

	使用学年	教科書の記号	書名
【A】	1	道徳	あたらしいどうとく 1
	2	道徳	新しいどうとく 2
	3	道徳	新しいどうとく 3
	4	道徳	新しいどうとく 4
	5	道徳	新しい道徳 5
	6	道徳	新しい道徳 6

**観点及びその評価**

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

**(1) 内容について**

**1 規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか**

- ・低学年では、「思いやり、親切」「生命尊重」の項目について、動物が主人公である教材と人間が主人公である教材のバランスを取り、写真やイラストを活用して命について考えるよう工夫されている。
- ・中学年では、規範意識と友情の間で揺れる思いが焦点化され、相手が友達であっても正しいことを指摘できるかどうかについて話し合うことができるよう工夫されている。

**2 教材はいじめの未然防止に資するものになっているか**

- ・低学年は、いじめに関する教材を続けて配列し、分かりやすい絵と文で示すよう工夫されている。
- ・中学年は、文化の違いを互いに受け入れたり、先入観で決め付けることなく生活したりすることを考える教材を取り上げ、重点的に学んでいくよう工夫されている。
- ・高学年は、「いじめのない世界へ」の欄で、いじめについて直接的に考えるよう工夫されている。

**3 教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか**

- ・主題名が簡潔かつ平易な言葉で表記されており、円滑に学習に取り組むよう工夫されて

いる。

- ・学校や家庭における具体的な生活場面を想定した教材が多く、児童が授業に取り組みやすくするよう工夫されている。

#### **4 自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか**

- ・目次に「問題を見つけて考える」というテーマが明記され、教材の後ろに「考えるステップ」が掲載されており、学習の進め方や問題解決的な学習についての意識付けをするよう工夫されている。
- ・「出会う・ふれあう」の項目では、ソーシャルスキルの学習を通して、自分自身に関わる問題と向き合うことができるよう工夫されている。

### **(2) 形式について**

#### **図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・文字の大きさと絵のバランスがよく、教材のイメージをつかみやすい絵や写真が多く使われており、興味深く授業に取り組むよう工夫されている。
- ・教材一覧表の内容項目や学びのポイントが適切に書かれており、理解しやすくするよう工夫されている。
- ・道徳の時間の進め方を絵で表して、児童が自分の学びについて理解しやすくするよう工夫されている。

【B】	使用学年	教科書の記号	書名
	1	道徳	かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん よみもの
かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん かつどう			
2	道徳	かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 よみもの	
		かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 かつどう	
3	道徳	かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 読みもの	
		かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 活動	
4	道徳	かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 読みもの	
		かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 活動	
5	道徳	かがやけみらい 小学校 道徳 5年 読みもの	
		かがやけみらい 小学校 道徳 5年 活動	
6	道徳	かがやけみらい 小学校 道徳 6年 読みもの	
		かがやけみらい 小学校 道徳 6年 活動	

## 観点及びその評価

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

### (1) 内容について

#### 1 規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか

- ・「思いやり」「生命尊重」に関する特設ページを活用して学ぶよう工夫されている。
- ・高学年の規範意識では、ルールの必要性や公共のマナーについて考えること、思いやりでは、相手を思う行為や言葉の大切さを考えることができるよう工夫されている。

#### 2 教材はいじめの未然防止に資するものになっているか

- ・生命尊重や友達関係を見つめ直す視点から学習を進めることができ、「情報モラル」と関連して、知らない間に誤解が大きくなり、広がっていく可能性があることについて考えるよう工夫されている。

#### 3 教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか

- ・身近な出来事や生き物との触れ合いを題材にするなど、主題をとらえやすくするよう工夫されている。
- ・教材の冒頭に小見出しがあり、主題が簡潔に書かれており、児童が理解しやすくするよう工夫されている。

#### 4 自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか

- ・別冊「活動編」の中に、道徳的価値について考えることができる欄があり、学びを深め

るよう工夫されている。

- ・「考えよう」「見つめよう」「話し合おう」では、自分自身の振り返りをしたり価値について考えたりすることのできる発問があり、学びを確かめるよう工夫されている。

## (2) 形式について

**図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・写真が効果的に使われており、登場人物の表情をとらえやすくするよう工夫されている。
- ・「読み物」と「活動」に分かれているので、「活動（別冊）」に発問やワークシートなどの情報が凝縮されており、読み物教材を集中して読むことができるよう工夫されている。



	使用学年	教科書の記号	書名
【C】	1	道徳	小学どうとく1 はばたこうあすへ
	2	道徳	小学どうとく2 はばたこう明日へ
	3	道徳	小学どうとく3 はばたこう明日へ
	4	道徳	小学どうとく4 はばたこう明日へ
	5	道徳	小学道徳5 はばたこう明日へ
	6	道徳	小学道徳6 はばたこう明日へ

## 観点及びその評価

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

### (1) 内容について

- 1 **規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか**
  - ・低学年では、規範意識、思いやりに関するスキルページを設けるよう工夫されている。また、思いやりに関しては、なじみのある教材と自作教材のバランスが良く、生命の尊重については、8ページ続けて命について考える特集を組み、理解を深めるよう工夫されている。
  
- 2 **教材はいじめの未然防止に資するものになっているか**
  - ・1年生は間接的、2年生は直接的に、児童の心に響く教材を配列するよう工夫されている。
  - ・中学年では、仲間外れにせず分け隔てなく接したり、友人への注意や注意喚起の方法を取り上げたりするよう工夫されている。
  - ・高学年では「正義の実現のために」というテーマで、直接的な表現を通して、具体的に課題解決の方法を探るよう工夫されている。
  
- 3 **教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか**
  - ・主題や導入の発問が明確に書かれ、考えることを簡潔に示しており、教材文を主題ごとにまとめるよう工夫されている。
  - ・全体的に偉人の話が多く、「主題」と「考えること」を最初に示し、理解しやすくするよう工夫されている。
  
- 4 **自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか**
  - ・教材のリード文に道徳的価値の内容について考えることができるよう工夫されている。
  - ・教材文の最後に「学びの手引き」があり「問い」を明記しているので、身近な出来事について考えたり、自分自身の生活を振り返ったりすることができ、自己との対話をするよう工夫されている。

## (2) 形式について

**図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・ 同一内容項目の教材をまとめて分かりやすい記号で記載しており、文字の大きさや絵の表情に統一感を持たせるよう工夫されている。
- ・ 内容が伝わりやすい写真や作者の直筆の詩など、より効果的な教材となるよう工夫されている。

	使用学年	教科書の記号	書名
【D】	1	道徳	どうとく1 きみが いちばん ひかるとき
	2	道徳	どうとく2 きみが いちばん ひかるとき
	3	道徳	どうとく3 きみが いちばん ひかるとき
	4	道徳	どうとく4 きみが いちばん ひかるとき
	5	道徳	道徳5 きみが いちばん ひかるとき
	6	道徳	道徳6 きみが いちばん ひかるとき

## 観点及びその評価

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

### (1) 内容について

- 1 **規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか**
  - ・生命尊重について取り上げた教材が多く、高学年では、実話をもとに命ある限り生きるということを考えたり、命の大切さを考えたりすることができるよう工夫されている。
  
- 2 **教材はいじめの未然防止に資するものになっているか**
  - ・低学年では、道徳的価値の自覚を深めたり、自分の事として具体的な行動を考えたりするよう工夫されている。
  - ・中学年では、いじめの未然防止に関する教材が多く、能力によって差別することや転校生への理不尽な嫌がらせなど、視野を広げて考えるよう工夫されている。
  
- 3 **教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか**
  - ・教材の冒頭に主題に関わる内容を吹き出しで表記することで、児童にとって理解しやすくするよう工夫されている。
  - ・「夢を実現するためには」（5年生）では、著名人が実際に取り組んだ目標達成シートを掲載し、自分の夢について改めて考えるよう工夫されている。
  
- 4 **自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか**
  - ・教材とコラムを合わせて学習を進めることで、考えを深めていくよう工夫されている。
  - ・具体的な生活場面を提示して考えたり、振り返って考えたりする欄があり、道徳的価値について考えを深めるために工夫されている。

## (2) 形式について

**図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・絵や写真が分かりやすく、登場人物の特徴や心情をとらえやすくするよう工夫されている。
- ・教材と関連する本の紹介や学びの記録を書くページがあり、効果的に学習を進めることができるよう工夫されている。

【E】	使用学年	教科書の記号	書名
	1	道徳	しょうがくどうとく いきる ちから1
2	道徳	小学どうとく 生きる 力 2	小学どうとく 生きる 力 2 どうとくノート
3	道徳	小学どうとく 生きる 力 3	小学どうとく 生きる 力 3 どうとくノート
4	道徳	小学どうとく 生きる 力 4	小学どうとく 生きる 力 4 どうとくノート
5	道徳	小学道徳 生きる 力 5	小学道徳 生きる 力 5 道徳ノート
6	道徳	小学道徳 生きる 力 6	小学道徳 生きる 力 6 道徳ノート

## 観点及びその評価

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

### (1) 内容について

#### 1 規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか

- ・低学年では、「生命の尊重」について、命を感じさせる美しい写真を多く掲載したり、複数の教材を通して学んだりするよう工夫されている。
- ・高学年では、人の心次第で不要となるきまりがあることを逆説的に考えたり、命の大切さをより深く考えたりすることができる教材を配置するよう工夫されている。

#### 2 教材はいじめの未然防止に資するものになっているか

- ・いじめの未然防止に関する教材が多く掲載され、登場人物の心情理解を通して学ぶ教材と現実的な課題について直接的に考える教材をバランスよく配置するよう工夫されている。
- ・いじめ（加害者・被害者・傍観者）への対処やいじめをなくすために必要な学習、能力によって差別をしない、仲間外れをしなくても済む方法を考えるなど、いじめに対して深く考えるよう工夫されている。

#### 3 教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか

- ・教材文の初めに、主題、簡単なあらすじ、登場人物、導入の発問を示すことで、児童が内容を理解しやすくするよう工夫されている。
- ・「かんがえよう」「みつめよう いかそう」で、主題に迫る文章表現が書かれており、より考えを深めていくよう工夫されている。

#### 4 自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか

- ・「学習の手引き」で、学習の進め方や発問を詳しく説明し、「目次」では、問題解決的な学習の記号（虫眼鏡）が明記されており、注目すべきポイントを理解することができるよう工夫されている。
- ・「心のベンチ」というコラムでは具体的な話が掲載されており、導入で活用したり視野を広げる素材として使ったりするよう工夫されている。

#### (2) 形式について

**図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・文字の大きさも適切で読みやすく、部分的に色分けもしており、理解しやすくするよう工夫されている。
- ・分かりやすい写真が掲載されており、効果的に教材文を読み進めていくよう工夫されている。
- ・教材一覧表の「手引き」や簡潔にまとまっている別冊ノートがあり、学習を理解しやすくするよう工夫されている。

	使用学年	教科書の記号	書名
【F】	1	道徳	しょうがく どうとく ゆたかな ころろ 1ねん
	2	道徳	しょうがく どうとく ゆたかな ころろ 2年
	3	道徳	小学どうとく ゆたかな心 3年
	4	道徳	小学どうとく ゆたかな心 4年
	5	道徳	小学道徳 ゆたかな心 5年
	6	道徳	小学道徳 ゆたかな心 6年

## 観点及びその評価

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

### (1) 内容について

- 1 **規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか**
  - ・低学年では、学校生活を背景にしたものを取り上げ、生命尊重・規範意識・思いやりに関する教材を含むよう工夫されている。
  - ・高学年では、規範意識、思いやりについて、児童にとって身近な題材を取り上げたものが多く、興味を持って学習に取り組むよう工夫されている。
  
- 2 **教材はいじめの未然防止に資するものになっているか**
  - ・低学年では、いじめが起こる可能性があるような場面や情報モラルについて考え、より具体的に学びを深めていくよう工夫されている。
  - ・中学年は、「相互理解・寛容」と「公正・公平」との葛藤や、短絡的ではなく、心から相手のことを考えて判断するよう工夫されている。
  - ・高学年は、いじめの解決方法を学ぶきっかけ作りとなる教材や直接的な内容について思いを巡らせる教材を配置し、多様な視点から考えるよう工夫されている。
  
- 3 **教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか**
  - ・巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」に、学習の手立てが分かりやすく書かれており、意欲的に学んでいくよう工夫されている。
  - ・「海を耕す人たち」（5年生）で漁業について取り上げるなど、教科の学習と関連して考えるよう工夫されている。
  
- 4 **自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか**
  - ・教材文の最後に、道徳的価値について考えることができるような発問があるので、内容について理解をした上で、授業に取り組むよう工夫されている。
  - ・「家の人に話そう」では、自分自身について振り返るよう工夫されている。

## (2) 形式について

**図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・児童にとって身近なキャラクターが使われており、挿絵の表情がはっきりしているものが多いので、興味をもって学習に取り組むよう工夫されている。
- ・教材一覧表に内容項目別に記入しており、関連のある道徳的価値の理解をしやすくする工夫がされている。



	使用学年	教科書の記号	書名
【G】	1	道徳	みんなのどうとく1ねん
	2	道徳	みんなのどうとく2年
	3	道徳	みんなのどうとく3年
	4	道徳	みんなの道徳4年
	5	道徳	みんなの道徳5年
	6	道徳	みんなの道徳6年

## 観点及びその評価

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

### (1) 内容について

#### 1 規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか

- ・ 中学年では、生命尊重について身近な人の命をテーマとした心に響く教材、思いやりについても様々な指導の手立てがあることを示し、学びを深めていくよう工夫されている。
- ・ 高学年では、身近な題材を扱った教材、多様な指導方法を活用する具体例の提示を行うよう工夫されている。特に、生命尊重では「見つめようつながるいのち」として、教材を連続して配置し、学びを深めるよう工夫されている。

#### 2 教材はいじめの未然防止に資するものになっているか

- ・ 仲間外れや中傷することなく前向きな言葉をかけて、安定した人間関係を築くことの大切さを考えるために、具体的な場面を通して学ぶよう工夫されている。著名人の話と教材を通して学ぶ、現実的な課題について直接的に学ぶ機会を作るなど、より具体性のある学びができる工夫がされている。

#### 3 教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか

- ・ 「目次」には内容項目の全体像、「ふかめよう」では主題や授業の流れなどが明確に示されており、具体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
- ・ 全体的に写真やイラストがはっきりしており、児童が興味をもって学習に取り組むよう工夫されている。

#### 4 自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか

- ・ 教材文の最後に「考えよう」として、道徳的価値について考える発問が示されており、意欲的に取り組むよう工夫されている。
- ・ 「深めよう」「つなげよう」では、自分自身や他の人のことについて、身近な出来事に置き換えて考えを深めるよう工夫されている。

## (2) 形式について

**図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・文字が大きく、写真や挿絵も効果的で読みやすくするよう工夫されている。
- ・会話文の中に話している人物の絵や場面ごとの挿絵で示した教材があり、分かりやすくするよう工夫されている。
- ・漫画を活用して本文を示している教材もあり、児童が興味をもって学習に取り組むよう工夫されている。

	使用学年	教科書の記号	書名
【H】	1	道徳	みんなでかんがえ，はなしあう しょうがくせいのどうとく1
			じぶんをみつめ，かんがえる どうとくノート1
	2	道徳	みんなで考え，話し合う 小学生のどうとく2
			自分を見つめ，考える どうとくノート2
	3	道徳	みんなで考え，話し合う 小学生のどうとく3
			自分を見つめ，考える どうとくノート3
	4	道徳	みんなで考え，話し合う 小学生のどうとく4
			自分を見つめ，考える どうとくノート4
	5	道徳	みんなで考え，話し合う 小学生の道徳5
			自分を見つめ，考える 道徳ノート5
	6	道徳	みんなで考え，話し合う 小学生の道徳6
			自分を見つめ，考える 道徳ノート6

## 観点及びその評価

◎神戸市小学校教育課程基準等に則して、教科の目標及び学年の目標達成に最適なものとなっていること

### (1) 内容について

#### 1 規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりの教材が重点的に取り上げられているか

- ・ 思いやり、生命尊重、規範意識に関する教材を多く取り上げ、繰り返し学びを深めるよう工夫されている。
- ・ 中学年では、「一まいの写真から」で、新聞記事、写真、詩を組み合わせた教材を通して、児童の興味関心を引き、学びを広げ、深めるよう工夫されている。
- ・ 高学年では、小さな鳥にも命があることを改めて考えるなど、様々な角度から命の大切さについて道徳性を育成するよう工夫されている。

#### 2 教材はいじめの未然防止に資するものになっているか

- ・ 低学年では、登場人物の心情理解を通して自我関与を深めたり、様々な視点から考えたりするなど、児童の発達段階に応じて工夫されている。
- ・ 中学年では、確かな知識と情報に基づいて分け隔てなく人に接するという教材を取り上げ、いじめをしない心の育成をしていくよう工夫されている。
- ・ 高学年では、著名人の考えについて思いを寄せたり、いじめの経験を振り返ったりするなど、多様な視点で考えを深めるよう工夫されている。

#### 3 教材は児童にとって理解しやすく主題がとらえやすいものになっているか

- ・ 「私たちの道徳」などで取り上げられてきた質の高い読み物教材が多く掲載され、「中心発問」が明確であり、挿絵や写真も教材文と調和が取れているため、児童が主題に迫

りやすくするよう工夫されている。

- ・主題が短い言葉で書かれ、「考えよう 話し合おう」では、学習の手立てが明記されており、児童が考えを深めることができるよう工夫されている。

#### **4 自己の生き方についての考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか**

- ・教材文の最後に「学習の道すじ」として、教材のねらいや中心発問などが詳しく示されており、考えを深めていくための手立てを理解しやすくするよう工夫されている。
- ・別冊のワークシートは、道徳的価値について考え、自分の思いをまとめるようになっており、自分自身について振り返る欄もあるので、自分の事として考えを深めるよう工夫されている。

### **(2) 形式について**

**図版（写真や絵、図、表、グラフ等）や文字、記号等の大きさや配置、色彩等が適切であり**

**理解しやすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮がなされているか**

- ・挿絵は量が妥当で、内容もシンプルであたたかい雰囲気になっており、教材文を読み進めやすくする工夫がされている。
- ・登場人物の表情や動きがよく伝わる写真が使われており、考えを深めていくよう工夫されている。
- ・「道徳ノート」にある「心のしおり」を活用することで、量的確保につながるよう工夫されている。

## ユニバーサルデザイン対応について

出版社	記載内容	記載場所
A	読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン（UD）書体を使用	教科書裏面に表示
B	色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に見やすいように配慮	教科書裏面に表示
C	色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮 CUD マーク表示	教科書裏面に表示
D	児童の色覚特性に対応できる分かりやすい色使い、デザインに配慮 特別支援を要する児童に分かりやすい構成や内容、デザインに配慮 児童の学習負担を軽減するよう、書き文字と差異の生じないフォント	教科書裏面に表示
E	カラーユニバーサルデザインに配慮	教科書裏面に表示
F	図版やグラフ等の配色などは、だれにもでも見やすいようにカラーユニバーサルデザインに配慮して編集	教科書には表示なし 編集趣意書に記載
G	ユニバーサルデザインに配慮	教科書裏面に表示
H	カラーユニバーサルデザインに配慮 CUD マーク表示（申請中）	教科書裏面に表示

<参考> 教科書の重さ（単位 g）※各教科書 第6学年

	A	B	C	D	E	F	G	H
重さ（g）	385	490	340	365	455	460	390	520
軽さの順	3	7	1	2	5	6	4	8

平成 30 年度使用  
神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程  
道徳科教科書調査員会 構成員

会長	神戸市小学校教育研究会事務局長
副会長	神戸市小学校教育研究会会計
副会長	神戸市立特別支援学校教育研究協議会会長
委員	神戸市立小学校校長
委員	神戸市立小学校主幹教諭（2名）
委員	神戸市立小学校教諭（4名）
委員	教育委員会事務局指導主事

## 平成 30 年度使用教科書の採択要領

### 1 基本方針

神戸市教育委員会（以下「教育委員会」という）は、学習指導要領及び神戸市小学校教育課程基準、神戸市中学校教育課程基準、神戸市立高等学校教育課程編成の手引き、神戸市立特別支援学校教育課程編成の手引等に則して教科書に関する調査研究を行い、適正かつ公正に採択する。採択後は、採択結果など採択に関する情報の公表を行い、開かれた採択を推進する。

なお、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校においては、障害のある児童生徒の実態に応じた最も適切な教科書を毎年採択する。

### 2 採択の手続き

#### (1) 小学校・義務教育学校前期課程（道徳科）

(ア) 教育委員会は、教育委員会事務局に調査研究を指示する。

(イ) 教育委員会事務局は、神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程使用教科書調査委員会（以下「調査員会」という）を設置する。

(ウ) 調査員会の委員は、学校関係者（校長・教員）・教育委員会事務局職員（指導主事等）から構成され、教育委員会事務局が委嘱する。

調査員会は、上記委員をもとに教科書の調査研究を行い、調査研究結果を教育委員会事務局に報告する。

(エ) 教育委員会事務局は、調査研究報告書を教育委員会に提出する。

#### (2) 小・中学校・義務教育学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部

(ア) 教育委員会は、神戸市立小・中学校・義務教育学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部教科書選定委員会（以下「選定委員会」という）を設置する。

(イ) 選定委員会の委員は、学校関係者（校長・教員）・保護者・学識経験者・青少年団体関係者・教育委員会事務局職員から構成され、教育委員会が委嘱する。

選定委員会の会長は、選定委員会の委員が互選し、会務は会長が統括する。

選定委員会は、神戸市立小・中学校・義務教育学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部教科書調査員会（以下「調査員会」という）を設置し、教科書の調査研究を指示する。

(ウ) 調査員会の調査員は、校長・教員・指導主事から構成され、選定委員会が委嘱する。

調査員会の会長・副会長は、選定委員会が選任し、会務は会長が統括する。

調査員会は、種目ごとに部会を置き、各部会に部会長 1 名、副部会長 1 名を互選する。

調査員会は、教科書を種目ごとに調査研究し、その調査結果を選定委員会に報告する。

(エ) 選定委員会は調査員会において調査研究された報告を参考に審議する。

#### (3) 高等学校及び特別支援学校高等部

各学校に、校長を委員長とする教科書選定委員会（以下「高選定委員会」という）を設け、毎年自校の教育課程に則した教科書を選定し、教育委員会に申請する。

(4) 小学校・義務教育学校前期課程（道徳科以外の教科）  
平成 26 年度に採択し、27 年度から使用している教科書を継続使用する。

(5) 中学校・義務教育学校後期課程  
平成 27 年度に採択し、28 年度から使用している教科書を継続使用する。

3 採択事務に関する情報公開について

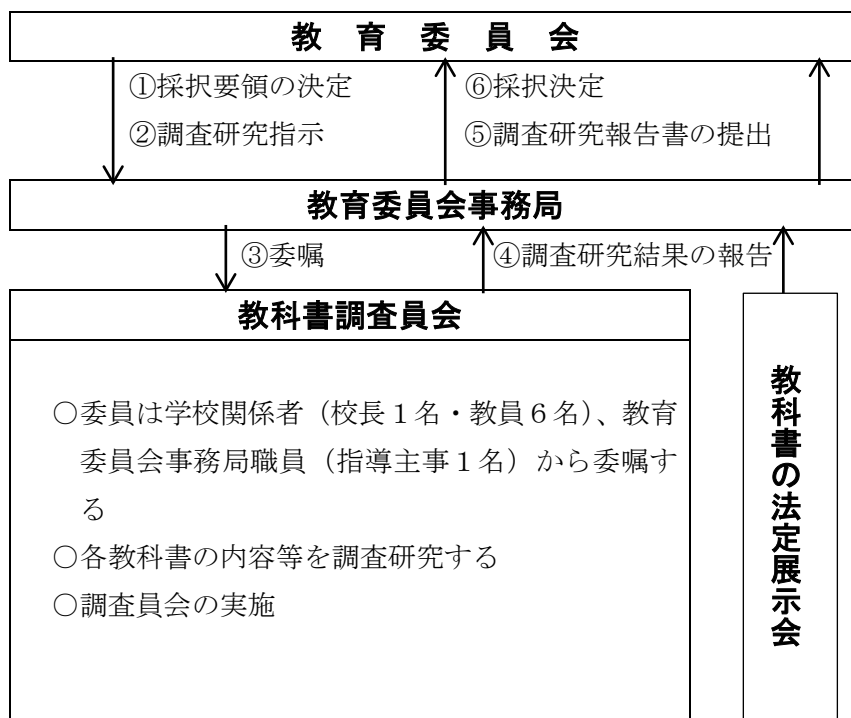
教科書採択の公正確保のため、「選定委員会」・「調査員会」の名簿と選定委員会議事録等は採択終了まで非公開とし、その後公開する。

4 教科書の展示

関係法令（教科書の発行に関する臨時措置法施行規則、第五条第二項の規定）の定めるところにより、一定の場所及び期間を定め、教科書を法定展示する。

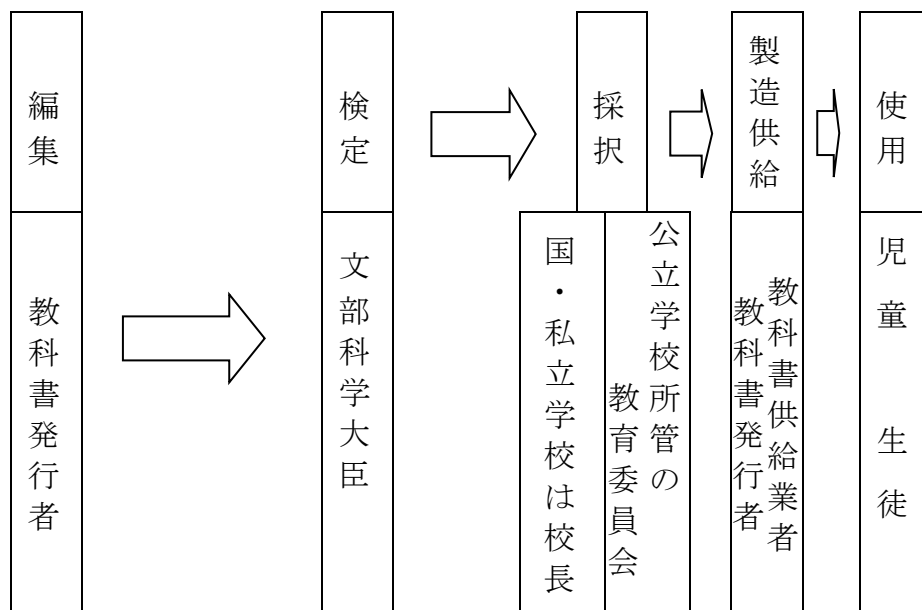


### 神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程 道徳科教科書採択の流れ



### 教科書が使用されるまで

1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目
-------	-------	-------	-------



採 択 関 係 者 様  
小 中 学 校 長 様  
義 務 教 育 学 校 長 様  
特 別 支 援 学 校 長 様  
教 育 委 員 会 事 務 局 各 課 長 様

教 育 長

小・中・義務教育学校及び特別支援学校小・中学部教科用図書採択  
の公正確保について（通達）

教科用図書採択の公正を確保するため、下記に示すことについて所属職員すべてに周知徹底願います。なお、平成 29 年度は文部科学省による中学校「道徳」の検定、小学校「道徳」の採択が行われます。

記

1. 教科用図書の採択は、採択権者の判断と責任において公正に行われる必要があり、外部からの不当な関与により採択結果が左右されることのないよう、適切な対応がなされなければならない。
2. 教科用図書発行者（以下、発行者）と接触する場合は、以下の規定に従って対応すること。
  - (1) 検定期間及び採択期間（平成 29 年度は中学校「道徳」の検定、小学校「道徳」の採択）
    - ・ 執筆等の場合を除いて発行者とは接触してはならない。
    - ・ 検定申請原稿本（いわゆる白表紙本）や検定申請原稿本に関する教師用指導書及びそれらの一部の写し等を一切受け取ってはならない。また、内容についても見てはならない。
    - ・ 教科用図書の見本本（発行年月日が未記入）、及びその一部の写し等を一切受け取ってはならない。個人宛等に発行者から送付されてきた場合は、直ちに管理職及び学校教育課長又は特別支援教育課長宛に報告すること。
    - ・ 発行者が主催し又は関与する講習会、研究会等に参加してはならない。
  - (2) 検定期間及び採択期間以外の期間
    - ・ 発行者による学校内における簡易な意見聴取や内容説明等は可とするが、接触した場合は学校長に報告すること。
  - (3) 全期間
    - ・ 金銭を受け取らない場合や勤務時間外であっても、発行者から執筆や編集および学校外における助言等の依頼があり、それを受けようとする場合は、発行者から日時・場所・依頼事項・交通費等を記載した文書の提出を求め、管理職に報告し、教職員課に兼職（兼業）の申請を行い、許可を得ること。  
※兼職（兼業）の許可を得て、執筆や編集および学校外における助言等を行った者は、教科用図書採択事務にかかわることができない。
3. 発行者や発行者と関係のある業者との接触にあたっては、その名目の如何を問わず、金品の收受、飲食、便宜の供与を受けるなどの行動をとってはならない。また、「神戸市政の透明化の推進及び公正な職務執行の確保に関する条例（神戸市コンプライアンス条例）」に基づき、勧誘等があった場合は、直ちに管理職及び学校教育課長又は特別支援教育課長宛に報告すること。
  - ・ 兼職（兼業）の許可を得た場合、執筆等に係る報酬、執筆や学校外における助言等に係る交通費、宿泊費の実費の受領は認められるが、物品の受領や飲食の無償提供は認められない。
4. 教科用図書の宣伝行為等にあたるような言動は厳に慎むこと。
5. 不明な点については、所管課に問合せをすること。

所管課：教育委員会事務局学校教育課（小学校担当：322-5783）（中学校担当：322-5784）  
特別支援教育課（322-5789）  
総務部教職員課（322-5767）

**平成 30 年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程  
道徳科教科書の採択事務日程**

平成 29 年

月	日	曜	内 容
4	17	月	<b>教育委員会会議</b> 「平成30年度使用教科書の採択要領」決定 採択方法（採択要領、日程、公正確保、法定展示会、観点）の確認と検討
5	12	金	<b>第 1 回教科書調査員会</b> 採択要領の確認（公正確保・非公開など） 調査研究の役割、方法、観点、記録など 調査研究日程の計画及び実施、報告
5	25	木	<b>第 2 回教科書調査員会</b> グループ協議（観点を中心に調査研究）
6	1	木	<b>第 3 回教科書調査員会</b> グループ協議（観点を中心に調査研究）
6	8	木	<b>第 4 回教科書調査員会</b> 調査研究結果を協議
6	16 ～	金	<b>教科書の展示会</b> 場所：総合教育センター、中央図書館、東灘図書館、灘図書館、北図書館 新長田図書館、西図書館（全 7 カ所） 月日：灘図書館以外の図書館 6月16日（金）～7月1日（土）（14日間） 灘図書館 6月20日（火）～7月5日（水）（14日間） 総合教育センター 6月16日（金）～7月4日（火）（14日間） ※高等学校、特別支援学校高等部の教科書の展示は 総合教育センターと中央図書館の 2 カ所で実施
6	16	金	<b>調査研究結果の報告</b> 調査員会より教育委員会事務局に調査研究結果を報告
7	7	金	<b>調査研究報告書の提出</b> 教育委員会事務局（指導主事）より教育委員に調査研究報告書を提出 県教育委員会からの調査研究資料を提出
7	24	月	<b>教育委員会会議</b> 教科書法定展示会での一般市民による意見の報告（件数） 教育委員による審議及び選考 「平成30年度小学校及び義務教育学校前期課程使用道徳科教科書」採択 採択結果を公表
9			<b>採択後情報開示</b> 教科書調査員会構成員、採択結果、調査研究資料等の公開

平成30年度使用  
神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程  
道徳科教科書要望・申し入れ・意見等

①教科書展示会での意見 75件

②郵送による要望 1件

7月5日最終日まで

## 平成30年度使用教科書展示会実施状況報告

(1) 展示会期間及び日数

- ・ 期 間 平成29年6月16日(金)～7月5日(水)
- ・ 期間日数 14日間

(2) 閲覧状況

閲覧者数

会 場	展 示 期 間	展 示 時 間	閲 覧 者 数
中央教科書センター (神戸市総合教育センター)	6月16日～7月4日 (原則土・日曜休館)	9:00～17:00 6/24 土曜は 13:00～ 17:00	<b>55</b>
第2教科書センター (神戸市立中央図書館)	6月16日～7月1日 (月曜休館)	9:15～20:00 日曜は 9:15～18:00	<b>9</b>
第3教科書センター (神戸市立東灘図書館)	6月16日～7月1日 (月曜休館)	10:00～20:00 日曜は 10:00～18:00	<b>8</b>
第4教科書センター (神戸市立灘図書館)	6月20日～7月5日 (6/14～19,月曜休館)	10:00～20:00 日曜は 10:00～18:00	<b>16</b>
第5教科書センター (神戸市立北図書館)	6月16日～7月1日 (月曜休館)	10:00～20:00 日曜は 9:00～17:00	<b>11</b>
第6教科書センター (神戸市立新長田図書館)	6月16日～7月1日 (月曜休館)	10:00～20:00 日曜は 10:00～18:00	<b>17</b>
第7教科書センター (神戸市立西図書館)	6月16日～7月1日 (月曜休館)	10:00～20:00 日曜は 9:00～17:00	<b>18</b>
合 計			<b>134</b>

※ 第3～第7教科書センターでは、高等学校使用の教科書の展示はしていない。

(参考) 過年度閲覧者数

年度	22	23	24	25	26	27	28
閲覧者数	<b>77</b>	<b>298</b>	<b>38</b>	<b>28</b>	<b>126</b>	<b>494</b>	<b>83</b>